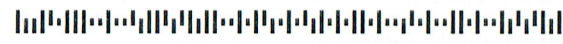




390-0847
長野県
松本市笹部1丁目4-8-10

下エルA102

西原 博徳 様



1001B0152 10013121#

重要

技術士第二次試験受験票在中

試験日:平成 28 年 7 月 18 日(月・祝)

文部科学大臣指定試験機関
公益社団法人 日本技術士会
技術士試験センター

〒150-0043
東京都渋谷区道玄坂2丁目10番7号 新大宗ビル9階
TEL 03(3461)8827 (代表)
URL <http://www.engineer.or.jp/>

平成 2 8 年度技術士第二次試験受験票

受験番号	1 0 0 1 B 0 1 5 2
フリガナ	ニシハラ ヒロノリ
氏 名	西原 博徳
昭和31年09月13日生 男 本籍地 福岡県	

受 験 地	東京都
技術部門	上下水道部門
選択科目	上水道及び工業用水道
専門とする事 項	水道施設運営
試 験 日 ・ 集合時間	平成 2 8 年 7 月 1 8 日 (月・祝) 9 時 4 5 分 (9 時 1 5 分頃から入室可能)
試験会場 ・ 所 在 地	東京大学 駒場 I キャンパス 東京都目黒区駒場 3 丁目 8 番 1 号

備考 試験会場案内地図は当会ホームページを参照して下さい。参照できない方は、技術士試験センターまでお問い合わせ下さい。

坂下門から正門への送迎車の進入は厳禁です。
キャンパス内は、全面禁煙です。

■技術士第一次試験 合格証番号 (合格年月) 153507 (H25.12)-3-

文部科学大臣指定試験機関
公益社団法人 日本技術士会

試験科目と試験時間

試験科目	問題の種類及び試験方法	試験時間
必須科目 I	「技術部門」全般にわたる専門知識を問う問題 択一式 (20問出題・15問選択解答) 【30点満点】	10:00～11:30 (1時間30分)
選択科目 II	「選択科目」に関する専門知識及び応用能力を問う問題 記述式 (A4片面600字詰用紙 4 枚以内) 【40点満点】	12:30～14:30 (2時間)
選択科目 III	「選択科目」に関する課題解決能力を問う問題 記述式 (A4片面600字詰用紙 3 枚以内) 【40点満点】	15:00～17:00 (2時間)

■受験票の受験申込み申請内容及び記載内容を確認して下さい。

誤りがある場合、至急、技術士試験センターに連絡して下さい。

氏名の漢字がコンピュータで印字できない場合は、コンピュータ対応漢字 (JIS第一水準及びJIS第二水準) で印字させていただくことがありますので、ご了承下さい。

なお、試験に合格し、技術士登録の申請を行う際には、コンピュータで対応できない漢字 (JIS第三水準及び外字) で登録することができます。

携帯品

1. 受験票 (受験票は必ず持参して下さい。)
受験票を忘れると受験できない場合があります。
2. 筆記用具 (一切貸与しません。)
 - ① 黒鉛筆又はシャープペンシル (HB又はB程度)
 - ② 消しゴム (電動は不可)
 - ③ 鉛筆削り (電動は不可)
 - ④ 時計 (通信機能、計算機能がないもの)(*) 電卓 (関数電卓等は不可)、直定規 (長さ30cm程度まで) は使用できますので、必要であれば持参して下さい。
3. 時計や電卓は、音が出ないように事前に設定して下さい。
3. 写真付きの身分証明書 (運転免許証、社員証等)
必要に応じて本人確認させていただくことがあります。

■試験会場について

- 1. 受験票に記載された試験会場以外での受験はできません。
- 2. 試験会場構内・周辺構外には駐車できませんので、自家用車での来場はご遠慮下さい。
試験会場へは公共交通機関を利用して下さい。
路上駐車（二輪を含む。）等について、地域住民から連絡があった場合、試験時間中であっても車の移動をお願いします。その際、試験室への再入室はできません。
- 3. 試験会場までは、交通機関の事故、交通混雑、乗り継ぎなどで予想以上に時間がかかることがありますので、十分な余裕をもって来て下さい。
- 4. 台風などの天候、その他により、試験会場への交通が乱れることがありますので、事前に情報を得て、十分な対応などを配慮して下さい。なお、一部の地域において、天災又は公共交通機関の運転停止などにより受験できない場合であっても、当該者に対する再試験は実施しませんので、ご了承下さい。
- 5. 試験会場によっては試験室ごとの冷房の温度調整ができない場合がありますので、当日の服装については十分注意して下さい。
- 6. 試験会場への道順、施設の状況等について、試験会場事務局等に電話等による問い合わせをしないで下さい。また、試験会場の下見のため、構内建物に立ち入らないで下さい。

■受験上の注意事項

- 1. 技術士第二次試験の事務は、公益社団法人日本技術士会の管理の下に実施しますので、試験会場においては、係員の指示に従って下さい。
- 2. 試験に関する注意事項の伝達等を行いますので、集合時間までに試験室に入室して下さい。入室したら座席の受験番号・氏名カードと受験票の受験番号・氏名が同じであるか確認して下さい。受験票は、机上の受験番号・氏名カードの下側に置き、監督員に見えるようにして下さい。なお、受験票への文字等の書き込みを禁止します。
- 3. 交通機関遅延等のやむを得ない事情による遅刻の場合には、試験開始後30分まで入室を認めますので、係員の指示に従って下さい。
- 4. 試験を欠席する場合、事前の連絡は不要です。

領 収 書

平成28年6月1日

西原 博徳 様
平成28年度技術士第二次試験受験手数料として
金14,000円を受領しました。
公益社団法人 日本技術士会
〒150-0043 東京都渋谷区西原2丁目10番7号
新大宗ビル9階 電話 (03)3461-8827

印紙税法第5条
第1項および同
法別表第17号に
より非課税



- 5. 試験室では、係員の指示に従って下さい。指示に従わない場合は、「失格」となる場合があります。また、不審な行動をみかけた場合、持ち物等の検査をさせていただく場合があります。
- 6. 付添者の試験室の入室は、原則、認めません。介助が必要な場合は、「特別措置に関する申出書」により申請して下さい。
- 7. 監督員からの注意事項等が聞こえなくなることがありますので、耳栓は使用できません。
- 8. 試験室にペットボトル及びボトル缶（ふた付き）の持ち込みは許可しますが、水筒又は缶類は、持ち込みできません。
- 9. 試験中の飲食は禁止です。（ガム、飴等も禁止です。）ただし、水分補給のためペットボトル及びボトル缶（ふた付き）に入った飲料は飲むことができます。
なお、ペットボトル等保冷ケースの使用は禁止します。また、弁当の空箱、ペットボトル等のゴミは、各自お持ち帰り下さい。
- 10. 試験中、机上には、受験票、筆記用具〔HB又はBの黒鉛筆（シャープペンシル可）、消しゴム（電動は不可）、鉛筆削り（電動は不可）、直定規（長さ30cm程度まで）〕、時計（通信機能、計算機能がないもの）、電卓〔四則演算（＋－×÷）、平方根（√）、百分率（%）及び数値メモリのみを有するものに限り。関数電卓等は使用不可〕及びペットボトル、ボトル缶（ふた付き）以外は、机上に置くことはできません。筆記用具入れは、カバン等の中にしまして下さい。
なお、時計や電卓については、音が出ないように事前に設定して下さい。また、ハンカチ、タオル、うちわ及び扇子は使用できますが、机上に置くことはできません。
- 11. 携帯電話等の通信機器・電子機器は、試験室から退室するまで電源を切ってカバン等の中にしまして下さい。これらを時計の代わりとして使用することは禁止します。また、試験室内での写真撮影は禁止です。
- 12. 試験時間中に周囲の生活騒音がある場合でも救済措置は行いません。（ドアの開閉音、監督者等の足音、監督者の業務上必要な会話、自動車・風雨・空調の音、照明の点滅、街頭宣伝、犬等の鳴き声、他の受験者の咳、くしゃみ、鼻水をすする音等）
- 13. 試験時間中の喫煙は禁止です。休憩中の喫煙は、試験会場構内の定められた場所以外は、厳禁です。なお、試験会場によっては全面禁煙のことがあります。
- 14. 試験問題及び答案用紙の交換は、落丁・印刷不鮮明以外応じません。
- 15. 試験開始の合図があるまで、試験問題冊子を開いてはいけません。
- 16. 試験問題の内容や答案用紙の書き方に関する質問には、一切答えません。
- 17. 各試験科目の試験開始後60分間及び試験終了前の10分間は、退室を認めません。無断で退室した場合は、「失格」となります。
- 18. 各試験科目の試験開始後60分を経過してからの退室や手洗いのための一時退室を認めますが、希望するときは、必ず手を挙げ監督員の指示に従って下さい。無断で退室した場合は、「失格」となります。
- 19. 途中退室する場合や試験終了後は、必ず答案用紙のみ所定の箱に投函して下さい。

- 20. 試験終了の合図にもかかわらず解答を続けていると不正行為となり、失格になります。
- 21. 不正の手段を用いて受験した場合は、即刻退室を命じます。さらに、技術士法の規定により、その後2年間の受験が禁止されます。
- 22. 各試験科目の試験終了時刻まで在席した場合は、該当試験科目の試験問題を持ち帰っても構いません。途中退室した場合は、該当試験科目の試験問題を持ち帰ることはできません。
- 23. 試験当日の忘れ物については、試験実施後1ヶ月保管しますので、期間中にご連絡下さい。

■採点に際しての取り扱い

- 1. 次の場合は、「棄権」とし、全ての答案を採点の対象から除外します。
 - ① 受験すべき試験科目を1科目でも欠席した場合
 - ② いずれかの試験科目の答案に「棄権」と表示した場合
 - ③ いずれかの試験科目の答案を提出しなかった場合（答案の持ち帰り）
- 2. 次の場合は、「失格」とし、全ての答案を採点の対象から除外します。
 - ① 受験番号・問題番号について未記入、誤記入又は不明確な答案を提出した場合
 - ② 受験番号のマークもれやマークミスがある場合
 - ③ 指定された問題数を超過して解答した答案を提出した場合
 - ④ 指定された解答枚数を超過して解答した答案を提出した場合
 - ⑤ 縦書きの答案を提出した場合
 - ⑥ 試験問題に明記されている指示どおりに解答していない答案を提出した場合
- 3. 答案用紙の裏面に記載された内容は、採点の対象にはなりません。

■筆記合格発表について

- 1. 筆記試験合格者の受験番号を10月27日（木）に次の方法で発表します。
 - ① 文部科学省のホームページに掲載します。（<http://www.mext.go.jp>）
 - ② 当会のホームページに掲載します。（<http://www.engineer.or.jp>）
- 2. 受験者（欠席者を除く。）に筆記試験の可否及び成績を郵便で通知します。ただし、試験を放棄した者（棄権者）は、不合格の通知のみ送付し成績は通知しません。11月11日（金）までに通知が届かない場合は、当会試験センターに問い合わせして下さい。
- 3. 筆記試験合格者に対して、口頭試験の日時及び試験会場を筆記試験合格通知の際に併せてお知らせいたします。
- 4. その他
 - ① 択一式問題の正答及び筆記試験問題を7月25日（月）に当会ホームページで公表する予定です。
 - ② 試験問題に関する問い合わせについては、個々には回答致しません。
 - ③ 採点結果の内容に関する問い合わせには、一切応じません。